

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月18日

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|---|-------|------------|
| 事業所番号 | 2190600011 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス東海株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム「憩いの里」さくら | | |
| 所在地 (電話番号) | 岐阜県羽島郡岐南町徳田7丁目73-1 (電話) 058-277-6711 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター | | |
| 所在地 | 岐阜県関門市平賀大知洞566-1 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年6月16日 | 評価確定日 | 平成20年6月23日 |

【情報提供票より】(平成20年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|--------|---------------------------|
| 開設年月日 | 平成18年8月1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 13 人 | 常勤 | 12 人, 非常勤 1人, 常勤換算 11.2 人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | | |
| | 2 階建ての | 1 階 ~ | 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|----------|---|
| 家賃(平均月額) | 40,000 円 | その他の経費(月額) | 15,000 円 | |
| 敷金 | 有() 円 (無) | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | (有) 100,000 円 無 | 有りの場合 償却の有無 | (有) / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,050 円 | | | |

(4) 利用者の概要(6月1日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 15 名 | 男性 | 5 名 | 女性 | 10 名 |
| 要介護1 | 3 名 | 要介護2 | 8 名 | | |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 1 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 1 名 | | |
| 年齢 | 平均 83 歳 | 最低 | 61 歳 | 最高 | 98 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------|
| 協力医療機関名 | 北田内科クリニック |
|---------|-----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体が変わるとい大きな節目から2年、安定した完成度の高いホームとして生まれ変わった。管理者は、一般企業に勤めた後、介護系大学に社会人入学して専門資格を取得している。介護、福祉に関して揺るぎない信念を持ち、一貫した思想や姿勢から職員の信頼を集めている。利用者の要介護度が低く、自立度が高いこともあって、本来のホームが目指す互助・協働の生活が営まれている。金銭を自己管理できる利用者が4名おり、散歩や通院の際には、喫茶店に立ち寄りたり買い物を楽しんだりしている。運営推進会議のメンバーの働きによって地域住民の理解が進み、地域との交流も深まってきた。職員のチームワークが良く、家族の信頼を得ていることから、今後もさらに質の高いサービス提供が期待できよう。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | <p>前回評価での要改善・推奨事項は11点であったが、ホームの改善努力だけでは解決できないものもあり、それらを除けばほぼ取り組みは終わっていた。小学校との交流は、不定期(イベント時)だったものが、2ヶ月毎の定期的な交流に発展している。ホーム便りの「さくら通信」も、2Pものへと進化していた。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>それぞれのユニットのリーダーと職員が自己評価を実施し、出来上がったものを管理者とリーダーで再検討して自己評価票を完成させた。職員やリーダーにとっても、収穫のある自己評価となった。</p> |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| | <p>2ヶ月毎に開催されている運営推進会議に、これまでは行政の代表として包括支援センターの職員が出席していたが、これからは町・健康増進課の担当者と交互に参加することとなった。ホームが、利用者の地域区分に関する課題を抱えているだけに、行政の直接担当部署がメンバーに加わった意義は大きい。地域を代表する町内会長もメンバーに加わった。</p> |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | <p>管理者は、家族との直接対話を重視し、重要な事項に対しては適時の説明を行っている。最近では、運営推進会議の席を借り、重度化や終末期のケアについての管理者の考え方を聞いてもらった。ホームに対する家族の信頼は強く、家族アンケートにも、段階の苦言やクレームはなかった。</p> |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | <p>これまでは、ホームイベントの際に声かけしていた地域の小学校との交流が、定期的な2ヶ月毎の交流に発展してきた。喫茶店では、利用者とかつての友人との間で話が弾むこともある。ご近所から届けられた野菜が、玄関に置いてあることもあった。これら、地域の住民の理解や支援は、運営推進会議のメンバーの働きによってますます広がりを見せている。</p> |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-------|-----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人の理念とは別にホーム独自の理念が策定されている。職員には周知された理念であるが、管理者は自らの目指す方向性とは若干のずれを感じており、見直しをすることも検討している。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎月開かれるケア会議で、理念についての再確認を行い、理念に根ざしたケアを推進していくことを話し合っている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | これまでは、ホームイベントの際に声かけしていた地域の小学校との交流が、定期的な2ヶ月毎の交流に発展してきた。喫茶店では、利用者とかつての友人との間で話が弾むこともある。ご近所から届けられた野菜が、玄関に置いてあることもあった。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | それぞれのユニットのリーダーと職員が自己評価を実施し、出来上がったものを管理者とリーダーで再検討して自己評価票を完成させた。職員やリーダーにとっても、収穫のある自己評価となった。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月毎に開催されている運営推進会議に、これまでは行政の代表として包括支援センターの職員が出席していたが、町・健康増進課の担当者と交互に参加することとなった。地域を代表して、町内会長もメンバーに加わった。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|---|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 管理者は町の担当課を訪問し、良好な関係の構築を図っている。しかし、利用者の地域区分の制限については意見の一致を見ず、管理者の思いは通じていない。 | | 今後は、町の担当者が運営推進会議に出席することになっている。会議の席上で、ホームの実情や意見を直接投げかけるのも一考であろう。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | これまでの「さくら通信」をバージョンアップした2ページ物の「新さくら通信」が発行されている。利用者の生活ぶりを伝える写真がふんだんに使われ、きれいな仕上がりととなっている。 | | 利用者のプライバシーや個人情報の取り扱いに配慮して、家族配布とホーム内掲示に限定使用しているが、利用者及び家族の同意の下、ホームの広報ツールとしての活用が待たれる。 |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 管理者が、家族との直接対話や適時の説明を行っており、ホームに対する家族の信頼は強い。家族アンケートにも、特段の苦言やクレームはなかった。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 一時期、職員の退職や異動が重なり、不安定な人事管理が続いたことがあったが、ここ半年は全く異動なし(離職者0)の状態が続いている。利用者の安定度も高い。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 充実していた法人による研修も、システムの見直しに入っており休止状態となっている。管理者は、外部研修への職員の参加を呼びかけ、研修会情報を回覧している。資格の取得を目指す職員には、シフトの調整も考慮する考えである。 | | 職員が育つと、「他のホームの管理者として抜かれてしまう」という管理者の嘆きがある。しかし、管理者自らと同じ遺伝子(信念、思い)をもった同志が法人内に増殖していくと考え、職員育成のための更なる尽力を望みたい。 |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 県・グループホーム協議会に加入した。地域のグループホームと交流を開始し、相互の訪問を繰り返している。管理者や職員だけの交流ではなく、交流相手のホームが利用者帯同で立ち寄ることもある。 | | 今後は、職員の意見交換会を催したり、職員育成のための交換研修や合同研修を開催する等、サービスの質の向上に向けた新たな展開に期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|---|-----|---|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用希望者の体験入居は行っていない。不安を持つ利用者や家族に対しては、ホームの見学だけでなく、サービスとして一日体験(デイ)を提案している。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>元気な利用者が多く、職員は専門知識や体験に根ざした日常の知恵を教えてもらっている。その内容は、野菜の作り方や料理の味付け等々である。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>アセスメント表が改定され、より利用者本人の意向をくみ取りやすいものとなった。利用者は、意思や希望を自ら表出できる者が多く、職員とのコミュニケーションに問題はない。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>介護計画の作成についても使用する書式の改定があった。これまでやや弱かった評価(モニタリング)の部分が充実し、前回計画の結果が次回計画に反映される仕組みとなった。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画の見直しに当たっては、利用者本人の意見や家族の意向が聞き取られていた。しかし、その思いを「支援の方針」に盛り込み、短・長期目標へとつなげていく基本手順に関しては理解の不足があった。</p> | | <p>介護計画の作成に関しては、全ての職員がそれぞれの役割を担っている。ホーム内での勉強会を実施し、介護計画の作成手順を再度確認することを推奨したい。</p> |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|--|--|-----|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者の通院時の付き添い、理美容院への同行、職員が同伴しての買い物支援等々、家族の意向や都合を聞き入れ、可能な限りの支援をしている。現時点での利用者が、安定した落ち着きのある生活を送れるようなケアに徹している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホームの提携医は定期的に往診がある。提携医以外をかかりつけ医としている利用者は、原則通院しての受診となるが、受診後に買い物を楽しんだり、喫茶店への立ち寄りを行ったりすることにより、利用者にも喜ばれ格好の外出支援となっている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ホームでの看取りまではしなかったが、昨年、終末期のケアを行った。ターミナルケアについての経験のない職員も多く、学ぶところは多かった。また、管理者は運営推進会議の場で、家族に対して重度化や終末期ケアについての詳しい説明を行った。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 環境への配慮や経費の削減効果を期待して、コピー用紙の裏紙使用を徹底しているが、個人情報の記載された用紙は即座にシュレッダーで刻まれている。外出中、職員は利用者を「お父さん」、「お母さん」と呼んで、利用者本人の尊厳保持に配慮している。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ホームでは利用者の飲酒を禁じているわけではないが、健康管理や他の利用者との関係を考慮して自粛してもらっている。しかし、女性利用者のたつての願いでもあり、家族の了承を取って、月に何回かはノンアルコール・ビールを夕食時に提供している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事に介助を要する利用者はいなかった。配膳、下膳、食器の拭きあげ等、男性利用者も交えて手伝いが行われている。毎月、1～2回は外食が行われており、利用者の楽しみとなっている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者が希望すれば毎日でも入浴できるが、通常は2日に1回の割合で入浴している。夜間の入浴希望に応えたり、反対に入浴拒否が激しくて取りやめたりと、様々な対応が取られている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ホームに面した小さな菜園を、他の者には触らせずに一人で管理している利用者がある。短歌、書道、絵画に興味を持つ女性利用者は、外部の教室に通っている。その日は朝から生き生きとした表情が見られ、社会参加をしているという意識が強く感じられる。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 地域には大型量販店やスーパーがあり、店内散歩を楽しんでいる。利用者のうち4名は自身で金銭を管理しており、買い物を楽しむ。散歩時には、ご近所の庭を見たり、お寺に参拝したりとアクセントが付けられている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関には鍵が掛けてあるが、一部の利用者は開錠の方法を知っており、自分で外へ出ることができる。一人でホームの外へ出て、自らの管理する菜園に水やりをして帰ってくる利用者もいる。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 1年間に行われる2回の防災訓練のうち、1回は夜間を想定した避難訓練が行われる。避難した利用者の見守りについては、運営推進会議を通じて地域にお願いがしてある。災害用の非常食は、規定の倍以上のものが備蓄しており、地域への転用も可能である。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量や水分の摂取量が記録されているが、特に水分の摂取には気が配られている。摂取目標は、食事を除いて1,000ccを設定している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 2階ユニットのホールには、季節の花が咲き乱れていた。色とりどりのあじさいが咲き誇り、かきつばたが池の周りを覆っている。まだ雪を残した富士山が、雲の上に姿を見せている。壁面いっぱいには張られた折り紙や切り絵の大作は、利用者と職員の共同作品である。ホームのあちこちに、本物の花も飾ってある。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は洋室タイプが基本であるが、希望があれば畳敷きの和室に模様替えすることができる。ある女性利用者の居室は、壁一面に折り紙細工の貼り絵が飾られていた。画題は「雨とあじさい」であるが、既に夏用の製作が始まっており、「ヨット」や「ひまわり」が作ってあった。 | | |